

献血とSDGs

SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月に行われた国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標を表します。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを約束しています。SDGsは発展途上国だけでなく、先進国自身も取り組むべきであるユニバーサル（普遍的）なものであり、日本も積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



献血との関わり

3 すべての人に健康と福祉を



SDGs目標3「すべての人に健康と福祉を」では、「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」ことを目的としています。輸血用の血液は人工的に造ることができず、長期保存もできません。輸血を待っている患者様の為に全国で毎日約14,000人の献血が必要と言われており滋賀県では、1日140人の献血が必要となっております。

継続的かつ持続的に献血協力いただくことで輸血を受けられる患者様に安定して血液をお届けし、より良い医療サービスの提供と日本の輸血医療に貢献することができます。



日本赤十字社 滋賀県赤十字血液センター